

新都市社会技術融合創造研究会 平成21年度 事業報告

1. 設立目的

社会資本の整備、維持・管理に関わる産・学・官の連携・協力による新しい技術の研究・普及等に関する事業を行い、もって都市再生と地域連携による経済活力の回復に貢献し、国民生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境の保全・創造に寄与することを目的として、新都市社会技術融合創造研究会（以下「研究会」という）を設立した。

2. 平成21年度活動概要

- ・H21年度は、委員会1回の開催に加え、当研究会主催において、「第6回新都市社会技術セミナー」を開催した。また、建設技術展 2009 近畿でのパネル展示及び座談会「低炭素社会に向けて」を行った。
- ・セミナーにおいては、京都大学小寺教授による『特別講演』の他、各プロジェクトチームでの研究成果が発表された。産学官の各方面から約250名の参加があり、参加者からアンケートを実施した。

3. プロジェクトチーム設立状況（H21年度）

プロジェクトチーム	プロジェクトリーダー	研究期間
「積雪寒冷地における舗装耐久性向上及び補修に関する研究」	小林潔司	H19～H21
「景観性に優れたアーチカルバートを用いた盛土構造に関する研究」	岸田 潔	H18～H21
「既設橋の最適延命化方策の評価・策定に関する研究」	宮川豊章	H19～H21
「アンカー工設置のり面の健全性評価に関する研究」	沖村 孝	H20～H22
「舗装用骨材資源の有効利用に関する研究」	山田 優	H20～H22
「物理探査の連続計測による斜面地盤の工学的評価手法に関する研究」	楠見晴重	H19～H22

4. 研究会活動

平成21年度は1回の委員会（第16回）とセミナー（第6回）を実施した。

○第6回新都市社会技術セミナー（平成21年5月29日）

- ・特別講演：京都大学 小寺教授
- ・各プロジェクトからの研究報告（11チーム）
- ・セミナー開始にあたり幹事会の開催（H21.2.7 H21.4.15）

○第16回委員会（平成21年12月2日）

- ・平成20年度事業報告
- ・平成21年度事業計画
- ・プロジェクトの活動報告

